

平成29年 8月17日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL 第2四半期 最高益を新たに更新

当社の重要な子会社でありますSET（タイ証券取引所）上場のDigital Finance会社 Group Lease PCL（以下GL）は、昨日SETに第2四半期決算（財務諸表）を開示し、その内容につきましてプレスリリースを公表いたしましたので、日本語にてご紹介いたします。

（以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳）

2017年 8月 15日

タイ証券取引所（SET）上場企業で Digital Finance 事業を展開する Group Lease Public Company Limited (GL)は今年度第2四半期業績を発表し、純利益は前年同期比31.7%増の337.60百万タイバーツとなり、11四半期連続での最高益更新の達成を発表いたしました。

「この2017年第2四半期の利益は、我々が事業展開している全ての市場において、着実な改善が行われた結果である。」とGL執行役員会長の此下竜矢氏は述べました。現在GLは、アジアにおいて本拠地のタイに加え、隣国のカンボジア、ラオス、ミャンマー、シンガポール、インドネシア、スリランカの計7ヶ国にて事業を展開しております。

2017年8月15日にタイ証券取引所に正式提出されたレポートによると、GLの連結割賦及びリース販売利息収入は、子会社の利息収入増加（カンボジア14.86百万タイバーツ、ラオス13.18百万タイバーツ）に伴い、昨年同期比33.61百万タイバーツ増、6.83%増の525.89百万タイバーツを記録いたしました。

GLのタイ子会社であるThanabun Co., Ltd. (Thanabun)においても目覚ましい改善が見られました。借り手が自分のオートバイを担保にローンを受けるサービスの資産担保金融からの利息収入が、昨年同期比12.41百万タイバーツ増、46%増の39.37百万タイバーツにまで増加しました。この資産担保金融の利息収入増加のうち、12.02百万タイバーツはThanabunによる増加であり、残りの0.39百万タイバーツは2017年第2四半期に新商材として開始したばかりのカンボジア子会社GLFによるものであります。

ミャンマー子会社によるマイクロファイナンスの新商材も好調であり、2017年第2四半期において初の利息収入6.22百万タイバーツを計上しました。この新商材は平均50週の期間で女性5人組のグループに対して貸出、週次で返済が行われ、グループ内メンバーそれぞれがその返済の責任を負うものです。このマイクロローンの新商材は、NPLレシオ（貸倒率）0%を記録しており、非常に成功を収めています。

また、その他2017年第2四半期のハイライトとして、インドネシアにおける戦略的パートナー JTrust Asia PTE. LTD (JTA) とのジョイントベンチャー会社 PT Group Lease Finance Indonesia (GLFI) から消費者ファイナンス利息収入として12.18百万タイバーツを記録しました。

GLFIは、昨年、農機具及びオートバイを対象に様々なファイナンスを提供するジョイントベンチャー会社として設立されました。GLの戦略的パートナー J Trust Co., Ltd. (J Trust) のインドネシア子会社銀行である PT Bank JTrust Indonesia がファイナンスを提供し、GLFIは、マーケティング、クレジット審査及び回収を手掛け、手数料ベースでのレベニューシェアを行っています。

GLは、ミャンマーを今後の高成長市場と位置付けていますが、2億50百万人以上の人口を有するインドネシアは、それ以上に堅実な成長可能性があると考えています。「このインドネシアのジョイントベンチャー会社 GLFI は、今後2,3年のうちにGLの中で最も大きなポートフォリオを生み出し、最も大きな利益貢献をするまでに成長するだろう。」と J Trust の代表取締役社長の藤澤信義氏は述べました。

2017年第2四半期において、シンガポール及びキプロスのSMEローン借用人からの利息は、昨年同期比8.88%増の合計125.99百万タイバーツとなりました。

またGLは、株式29.99%を保有するスリランカのファイナンス企業 Commercial Credit & Finance PLC (CCF) から36.73百万タイバーツを持分法による投資利益として計上しました。これは、前四半期に比べ24%減少していますが、その主な要因は、同国では4月に2週間に及ぶ祝日があり、その期間 CCF の顧客のローン利息が免除されたことがあげられます。

此下氏によると、2017年第2四半期での最高益更新は、積極的な海外事業拡大に伴う管理費用及びリーガル費用がより大きく発生する中において達成されたと述べました。それらの費用は、昨年同期比で25.12%増、合計で271.89百万タイバーツにまで及んでおります。

タイ証券取引所に提出したレポートは、販売管理費はそれでも収入の伸びに比べ緩やかであり、非常に効果的なコストマネジメントが実行されていることを説明しています。

全体ポートフォリオ10,246百万タイバーツにおける各国割合を見ると、カンボジア49.3%やタイ45.3%で依然として大きな割合を占めており、残りラオス3.7%、ミャンマー1.1%、インドネシア0.7%となっています。

以上